

かわ あそ
1.川で遊ぼう

てん こう ちしき
メモ 天候の知識

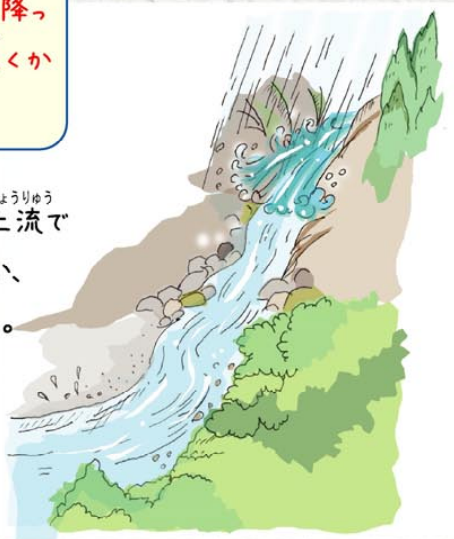
てん き さつち
●天気のおずれを察知しよう

かわあそ かわ みず ぞうすい ちゆうい
川遊びでは川の水が増水することに注意しよう。
かわ みず なが にかわ なが
川は水があつまり流れるところだ。日本の川は流
れが急なため、ひとたび雨が降るとすぐに増水し、
てっぼうみず
鉄砲水がくることもあるよ。



むちゆう あそ としき
夢中になって遊んでいる時は
てん き へんか き
天気の変化に気づかないも
のだね。天気のおずれをいち早
く察知し、雨が降りそうとき、
かみなりが鳴ったとき、雨が降っ
てきたときは、すぐに川の近くか
らはなれる勇氣を持とう。

- 事前に、天気予報をみて、前の日までに上流で雨がふったかどうか、当日の天気はどうか、上流で雨がふるかどうかをチェックしよう。
- 携帯ラジオ、携帯電話を持っていき、当日の気象情報をチェックしよう。
- 自分がある河原や中州は増水するとすぐに川底に。(P34参照)



かわ みず にご いま き は なが
• 川の水が濁りだしたり、今までなかった木や葉っぱなどが流れてきたら、
てっぼうみず おそ いそ かわ たか ひなん
鉄砲水の恐れがある。急いで川からはなれ、高いところに避難しよう。

かわ あそ やく そく
2.川遊びの約束

まも
これだけは守ろう

おとな ひと い
大人の人と行こう

かわ あそ こ い
川に遊びに行くときは、子どもだけで行ってはいけません。
かなら おとな ひと い
必ず大人の人と行きましょう。
ひとり い あぶ いえ ひと ゆ さき
もちろん一人で行くのも危ないよ。家の人にも行き先を
い
言っておくように。



てん き しら で
天気を調べて出かけよう

てん き よほう まえ ひ じょうりゆう あめ
天気予報をみて、前の日までに上流で雨がふった
とうじつ てん き じょうりゆう あめ
かどうか、当日の天気はどうか、上流で雨がふるか
どうかをチェックしよう。



ひと いし
人のいるところで石をなげない

かわ いし
川では、むやみに石をなげない。
すいめん いし な あそ ひと み
水面に石を投げて遊ぶときも、人がいないかよく見
てから、石をなげよう。魚や鳥もおどろかささないでね。



も かえ
ゴミは持って帰ろう

べんとう つ どうぐ じぶん だ
お弁当やおやつ、釣り道具など、自分が出したゴミ
かなら いえ も かえ ぶくろ も
は必ず家まで持って帰ろう。ゴミ袋を持っていこう。
す も かえ
捨ててあるゴミも持って帰ろう。
かわ
そうして、いつかゴミのないきれいな川にしよう。



かわ あそ やく そく
2.川遊びの約束

あんぜん みち さが かわ ら ちか
安全な道を探して、河原に近づこう

かわ ら ちか ひと とお あと あんぜん とお みち
 河原に近づくときは人が通った跡のある安全な通り道を
 さが ちか ちかみち しやめん お
 探して近づこう。近道だからといって、斜面を降りたりす
 くさ み あな きけん
 ると草で見えない穴や危険なゴミがあって、ケガをするよ。



たいちよう わる
体調が悪いときはむりをしない

からだ わる かわ つよ ひ
 体のぐあいが悪いときは、川へいくのはやめよう。強い日
 ざ つめ みず たいりよく つか ともち さそ
 差しや、冷たい水は体力をたくさん使うよ。友達の誘い
 ことわ ゆうき たいせつ
 を断る勇気も大切だよ。



かわ
川のすがたはいつもちがう

かわ あめ すいりよう へん か ぜんかい あん
 川は雨や水量によって、いつも変化しているよ。前回、安
 ぜん あそ ぼしよ いったい あめ ぼしよ
 全に遊べた場所も、一回の雨でケケンな場所になること
 かわぜん たい かんさつ あそ
 も。川全体を観察してから遊ぼう。



あいさつをしよう

かわ ひと さん ぼ ひと さかなつ
 川にはいろんな人がいるよ。散歩をしている人、魚釣りを
 ひと かわあそ ひと かわ ひと て あ
 している人、川遊びをしている人。川で人に出会ったら、
 あいさつをしよう。



けいたいでん わ でん ば とど かくにん
携帯電話の電波が届くか確認しよう

ひと けいたいでん わ も じ ぜん でん ば とど
 グループに一つは携帯電話を持っておこう。事前に電波が届
 かくにん かわ でん ば はい ところ おお けいたい
 くか確認しよう。川では電波が入りにくい所が多いので、携帯
 でん わ かしん
 電話を過信しないようにしよう。



かわ あそ やく そく
2.川遊びの約束

みず なか あそ
(水の中で遊ぶとき)

かわ かんさつ
川のぜんたいを観察しよう

はし うえ どて たか かわ かんさつ
 橋の上や土手など、高いところから川ぜんたいを観察する。
 あさ ふか なか はや みず
 浅いところ、深いところ、流れの速いところ、水のにごりぐあい
 などをチェックしよう。



じゅんびうんどう きゆう みず はい
準備運動をし、急には水に入らない

かわ はい まえ じゅんびうんどう と こ
 川に入る前には、準備運動をしよう。いきなり飛び込んで
 か はんしん うえ みず ぜんしん つめ
 いけないよ。下半身からだんだん上に水をかけて、全身を冷
 みず
 たい水にならそう。



からだ ひ やす
体が冷えたら休もう

かわ みず つね なか つめ ていきてき やす からだ
 川の水は常に流れているので、冷たいよ。定期的に休んで体
 あた とりはだ からだ
 を温めよう。鳥肌がたったり、体がふるえるようなら、すぐに水
 で からだ あた たいよう あた いわ こうら ぼ
 から出て体を温めよう。太陽で暖まった岩で甲羅干ししたり、
 いるい かさ き ほおん
 タオルや衣類を重ね着して、保温しよう



きゆう ふか き
急な深みに気をつけよう

あさ かわぎし いったい ぼあし だ いが い ふか あしもと すな
 浅い川岸も一歩足を出せば、意外に深いことも。足下の砂
 くず ふか はじ
 が崩れて、深みにはまることがある。初めていくところは十分
 ちゆうい そとがわ なか ちゆうしん ちか きゆう
 注意しよう。カーブの外側や流れの中心に近いところは急に
 ふか
 深くなっているよ。



てんこう じょうきよう へん か き
天候や状況の変化に気をつけよう

かわ し ぜん じょうきよう へん か ぼしよ すいおん
 川は自然。状況はいつも変化している。場所によって水温が
 ちが あめ ふ ぞう すい とく じょうりゆう くも
 違ったり、雨が降って増水することも。特に上流の雲をみて
 あめ ふ かくにん
 雨が降っていないか確認しよう。



2.川遊びの約束

(水の中で遊ぶとき)

ライフジャケットを着よう

水の中は息ができない。どんなことがあっても息が出来るように、浮力を身に付けるためライフジャケットを着ておこう。自分の身を守るために。



はだしで川の中に入らない

川の中はとがった石やガラスなどキケンなものが落ちている。リバーシューズやズック靴にくつしたをはいたまま水に入ろう。サンダルはすべてキケン。



大切なモノは身につけないようにしましょう

時計、携帯電話、財布などを身につけたまま水に入らないようにしましょう。うっかり携帯電話などをポケットに入れたまま川に入ると、緊急時に連絡が取れなくなるよ。



川の中を歩くときはすり足で

川底はグラグラした石や、ツルツルしたコケで滑りやすいよ。川の中を歩くときはすり足で、川底の安全を確認しながら、小さな歩幅でバランスを取りながら歩こう。



水圧(水の流れが押し力)があることに気を付けよう

川はプールとちがって流れがあるよ。流れによって押しつけられる水圧によって足もとが押さえつけられて、動けなくなることもある。また、強烈な水圧でブロックや木の枝に引っかかって自分の力では脱出出来なくなるよ。



3.危険なところ



こんなところに注意しよう



川岸にあるコンクリート護岸や階段は、コケや水で滑りやすいことがあるので、歩くときは注意して歩こう。



川岸にあるコンクリートブロックは、コケや水で滑りやすいので、近づかないこと。



港などの船が止まっているところは、立入禁止です。あみやロープに足を引っかけたりして危険。船に勝手に乗るのは絶対やめようね。



川には横から流れ込む水路のゲートなど、いろんな構造物があるよ。滑って落ちると危険なので立入禁止だよ。

